
浦島太郎

単身赴任おじさん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

浦島太郎

【Zコード】

Z6046A

【作者名】

単身赴任おじさん

【あらすじ】

近未来のコソ泥のお話。短編で終わる予定です。初めて書くんで
非望抽象はお断りm(——)m

act・1 (前書き)

暇な時にちよいじりいつ更新しますんで、気長に見守ってやってください。

「ふあ～」

頼りない欠伸と共に上半身を持ち上げる。足元には杖がベットに立掛けている。

はたからみて、この男に杖が必要には全く見えない。むしろ、健康そうで年齢は30を少し過ぎた位か。特にどこも悪いようには見えない。

男は不機嫌そうに起き上がり、冷蔵庫にしまってあつたゼリー飲料を身体に流し込み、おもむろにテレビを点けた。

ちょうど毎のNEWS番組が流れていた。

仕事の次の日には、必ずこの番組を見るのが男の日課のようだ。テレビからは無表情のアナウンサーの声が聞こえる。男はテレビをしばらく眺めて呟いた。

「ばれていみたいだな、俺の事は」

そう男は、NEWSに出ていてもおかしくない事を仕事にしている。少なくとも風貌からは、人に感謝される仕事をしているようには見えない。

そう、彼は泥棒である。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6046a/>

浦島太郎

2010年10月28日00時44分発行